

平成22年6月4日(金)及び22日(火)

学校林を知ろう - 白糠町立茶路小学校 -

6月4日(金)と22日(火)の両日、白糠町立茶路小学校3年生～6年生の児童20名が総合的な学習の時間を利用して「学校林を知ろう」に取り組みました。当校には、校舎に隣接して20ヘクタール余りの学校林があり、カラマツ、トドマツ、アカエゾマツ、広葉樹の森林が広がっています。

4日は、学校林を育てた昔の様子や学校林に木を植えた目的などを知ってもらった後、学校林の簡単な図面を見ながら児童と共に学校林の樹木観察を行いました。しかし、間もなく雨が降り出し始めたため教室に場所を移し、森林や樹木に対する子供たちの質問に答える時間としました。

「学校林には何種類くらいの木があるのか?」、「学校林で一番たくさんある木は何か?」など、答えに窮する質問がたくさんありました。22日には、4日に回れなかった学校林の樹木観察を行い、全部で31種類の樹木と植物を見て回りました。

学校では、学校林の学習を通して森林の役割や木の特性を知り、環境問題や木の作品づくりに繋げていきたいとのことでした。11月の参観日には学習内容を取りまとめて保護者の前で発表することになっています。

(自然再生指導官 國井)



樹木の葉っぱをデジカメで撮影



校庭の真ん中にあるエゾヤマザクラ